



Vol.27

2014年8月発行

編集・発行 最成病院
TEL043-258-1211
<http://www.saisei.or.jp>



医療法人社団 有相会

最成病院
TEL043-258-1211

介護老人保健施設 ゆうあい苑
TEL047-480-2111

最成病院ヘルスケアセンター
TEL043-257-8111

グループホームかしわい
TEL047-480-2165

ゆうあい健康スポーツセンター
TEL043-258-0526

最成病院 居宅介護支援室
TEL047-480-2133

ゆうあい訪問看護ステーション
TEL047-480-2132

公開講座「楽らく介護体験」が行われました。

平成26年5月22日（木）に介護老人保健施設 ゆうあい苑にて地域の皆様を対象に、理学療法士、介護福祉士を講師とした公開講座「楽らく介護体験」を開催致しました。

当日は18組の方々が参加され、皆さんにとっても積極的な印象的で、活発に意見交換も行われ、和気あいあいとした雰囲気の中、会は進行して行きました。体験内容は(1)ベッドからの起き上がりの介助(2)ベッドから車椅子への乗り移りの介助(3)車椅子から乗用車への乗り移りの介助など乗り移りの動作を中心に行いました。

ご参加いただいた方からは「力任せに行うのではないのね」「今までより簡単に介助することができそう」など実際に体験されることでポジティブな意見が多く聞かれたのは嬉しい限りです。そう介助される方の持っている力を上手く利用し、ちょっととしたコツ



わからないことは何でも聞いてくださいね

こんなに力を入れなくてもイイんですね



車椅子に乗る方の気持ちになって気がつきました



車への移乗もちょっとしたコツで楽になりますよ

ご質問はありませんか？



が分かれば介護は楽に行うことができるのです。また「介助される側の気持ちが分かった」という声も聞かれ、「肌で感じて」いただくことで、とても有意義な講座をできたのではないかと思います。

今後、日本は更なる高齢化社会を迎えます。「介護」に対するニーズはより一層高まることが予想されます。地域の方々に寄り添い、今後も介護学習や福祉・医療情報などを積極的に提供して行きたいと考えております。

介護のことでの困ったことや、相談などがありましたら、いつでもお気軽にお尋ね下さい。

最後にご参加いただきました方々、本当にありがとうございました。

介護老人保健施設ゆうあい苑
施設長 小澤 恵子



最成 健康便り



第4回となる「最成 健康便り」。

当院の医師が、毎回「病気」についての説明や日常生活でお役に立つ情報を発信し、皆様にご紹介していくコーナーです。

今回は雅楽医師が「腰部脊柱管狭窄症」についてご説明いたします。私たちが日常生活を送る上でのヒントがきっと書かれていると思います。ご一読いただき、予防の一助としていただけましたら幸いです。



～腰部脊柱管狭窄症～

整形外科部長 雅楽 十一



はじめに

腰部脊柱管狭窄症とは、腰部の脊柱管が何らかの原因で狭くなり、脊柱管の中を通る神経が圧迫されことで神経組織の血流障害を生じて下肢のしびれや痛みなどの症状を呈する病態です。

症状

特徴的な症状は、歩いていると太ももや膝から下にかけてしびれや痛みが出て歩きにくくなり、少し前かがみの姿勢で休むと痛みが改善してまた歩けるようになる間欠跛行（かんけつはこう）です。腰痛はあまり強くないことが多い、安静時には症状はほとんどありません。進行すると、下肢の筋力が落ちたり、肛門周囲のほてりや尿の出が悪くなったり、逆に尿が漏れることもあります。

原因

加齢、労働あるいは背骨の病気等で変形した椎間板と椎骨や椎間関節から突出した骨などにより、神経が圧迫されます。最近の調査で70歳以上の12人に1人が腰部脊柱管狭窄症であるとも推定されており、高齢化に伴いさらに増加すると予想されています。

診断

単純レントゲンでもある程度の推測はできますが、詳しい診断のためにはMRIや脊髄造影などの検査が必要になります。

重要なのは、血管性の間欠跛行を呈する下肢の末梢動脈疾患との鑑別です。この場合、下肢の痛みは筋肉の阻血によっておこり、多くはふくらはぎに限局しています。ABI検査が診断に有効です。

治療

まずは保存療法が選択されます。薬物療法では神経の血流改善や疼痛改善のための薬剤の投与、リハビリでは温熱療法や体操、コレセット装用（腰を少し曲げた状態で固定する屈曲コレセット）、神経ブロックなどがあります。罹患期間の短い患者さんは、症状が改善しやすく、早期診断・早期治療が重要です。手術療法は、強い神経障害がある場合や保存療法を続けても『歩ける距離が短い』など、改善のない場合に適応となります。

きずな直送便～宮繕編～

こんにちは。総務課長の高橋と申します。有相会の「裏方さん」宮繕をご紹介いたします。我らの「宮繕」のキーワードは安心・安全とアメニティーです。さらには迅速です。

患者さんやご家族にとっての、また職員が仕事をするうえでの環境を善く整え、器械・器具・用具を修理、修繕し、必要とあれば製作してしまう、まさに「スーパー・マルチ・インフラ宮繕」です。

空気も水も、交通安全も、車椅子も、電球の交換も、戸棚の製作も、樹木の剪定も・・・。最成病院もゆうあい苑も、みんな「宮繕」に支えられています。頼もしい限りです。

病院や施設を利用される皆様にとって、より快適な環境となるように、宮繕スタッフは院内整備に、日々、汗を流しているのです。

患者さんや職員が
過ごしやすい環境
を整えています。



中庭ではお花の
観賞もできます。
ゆっくり寛ぐこ
とができます
よ！

秘密の倉庫（笑）
定番の釘や工具
から雪かき具ま
で揃っています。



第10回 最成病院 医療連携の会が開催されました。

平成26年6月20日に、ゆうあい苑別館にて最成病院 医療連携の会が開催されました。花見川、八千代地区の近隣の先生方との連携強化、意見交換の場として平成17年より開催しておりますが、今回で第10回を迎えることとなりました。これもひとえに地域の先生方、さらには地域住民の皆様のご協力があつてのことです。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

特別講演は千葉大学大学院医学研究院 神経内科学 助教 三澤 園子先生に「日常診療に潜む治療可能なニューロパシー：的確な診断と治療のコツ」をご講演いただきました。とても解りやすく、そして医療の現場に即応したお話に、出席者からは数多くのご質問がでて、非常に濃いディスカッションが展開されました。

また特別講演に先立ち、本年4月の診療報酬改定に関して、当院が千葉県第1号として開設した「地域包括ケア病棟」について、その地域医療に果たす役割と連携システムをご紹介いたしました。この病棟は内科・外科など科や病気の種類を問わず、急性期と慢性期の間の治療と在宅準備をする病棟です。ゆうあい訪問看護ステーションをはじめとしたネットワークで「ときどき入院、ほぼ在宅」を目指していきます。

これからも近隣の先生方との連携を緊密にして「地域の皆様が安心して暮らせる花見川」のために尽力してまいります。ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。



ご講演される三澤園子先生



左より鈴木院長 三澤先生
多田理事長 西堀副院長

外来医師担当表(2014年8月1日現在) 変更がある場合がございます。ご了承下さい。

曜日	時間	内科	外科・消化器科	整形外科	婦人科	循環器科(呼吸器外科)
月	午前	西堀・潤間 芦澤	坂田	雅樂・眞鍋 佐藤(達)	田中 9:30~	大貫
	午後	多田・新井 福原	花岡 乳腺外来(藤田)	雅樂・佐藤(達) 第1、3、5 加藤		
火	午前	多田 根本・桑原	鈴木 眞田 10:00~	小川 久保田		
	午後	潤間 伊藤 ・桑原	非常勤医	小川/久保田 (交代制)		
水	午前	多田・斎藤 川島	清水 坂田	雅樂・加藤 落合・分島		大貫
	午後	西堀・新井・大野 糖尿病(伊藤)※1		スポーツ診(桜庭)・落合・分島 ・※第2,4のみリウマチ診(雅樂)		
木	午前	西堀・新井 中津	鈴木	谷口 河野・佐藤(博)	田中 9:30~	
	午後	岩本 ・中津 糖尿病(伊藤)※1		佐藤(博)・ 第2,3,4,5 河野		
金	午前	斎藤・佐藤 大久保	藤田	眞鍋 金・吉田	田中 9:30~	大貫
	午後	亀井 ・鈴木・呼吸器内科 (14:00~15:45)潤間・ 糖尿病(伊藤)※1	清水 眞田	金 吉田		宮路
土	午前	河西 甲斐	清水/坂田 (交代制)	・第1,3,5 谷口・第2,4 加藤・ 第1,3,4,5 佐久間・第2 馬場 ・第1 吉田・第2 成嶋 ・第4 本間・第5 酒井	田中 9:30~	大貫
	午後	第1、3、5 消化器 外来(丸山)・須永・ 塚本・内科Dr(交代制)		・第1,3,4,5 佐久間・第2 馬場 ・第1 吉田・第2 成嶋・第4 本間 ・第5 酒井		

※1 紹介状の持参、もしくは当院他科を受診してからの予約となります。

※ 女性医師は赤字で記載しております。※ 婦人科外来の診療時間は9:30~12:00となります。



ゆうあい伝言板

次回の公開講座

第3回：平成26年11月27日(木)
15時～16時

「地域で安心して生活するために
～医療や介護を上手に活用するポイント～」
講師：看護師・社会福祉士・ケアマネージャー

会場：ゆうあい健康スポーツセンター



編集後記

糖尿病教室のお知らせ

毎月第4木曜日 13時～14時、ゆうあい健康スポーツセンター（病院地下1階）にて開催中。医師、看護師、栄養士などが、それぞれ専門の観点から「糖尿病」についてお話しします。

予約不要、参加費無料で興味のある回だけ参加いただくこともできます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。



暑い日が続きますが、今開催中の甲子園では球場の体感温度は40度を超えるそう。そんな極限の中でプレーする高校球児に毎年感動しています。野球も仕事もチームプレーが一番大切ですね。(S)